

## 林家たい平師匠が 真心の大切さを説く

1月30日、「みらい」文化ホールで行田市人権教育合同学習講演会が行われました。

今回、「笑顔のもとに笑顔が集まる」という演題で講演を行ったのは、落語家の林家たい平師匠。たい平師匠は、落語家を目指したきっかけや修行時代の苦労話、さらには有名落語家とのエピソードなど興味深い話を交えながら真心を持って人に接することの大切さを訴えかけていました。また、笑点メンバーの裏話も披露するなど会場は常に笑いに包まれ、講演終了後には参加者から盛大な拍手が送られていました。



## 命を預かる仕事の大変さと やりがいを実感

2月1日、北河原小学校でドクターヘリの機能や役割について学ぶ「ドクターヘリ小学校体験会」が行われました。

この体験会は、埼玉県「青少年夢の配達便事業」の一環として行われたもの。午前10時40分ごろヘリが同校に向かって飛んで来ると、子供たちは興奮を隠しきれない様子で到着を待っていました。そして着陸後、実際にヘリでの治療を行っている埼玉医科大学総合医療センターの医師や看護師が、機内にある医療機器などを分かりやすく説明しました。子供たちは、現場の「生」の声を聞いたことで、命を預かる仕事の大変さとやりがいを感じ取っているようでした。



## 邪気を払って幸多い一年に

2月3日、行田八幡神社で節分祭が開催されました。

境内では軽トラ朝市やもちの振る舞い、さらには忍城おもてなし甲冑隊による演舞などが行われ、来場者を楽しませていました。豆まきでは、年男・年女と共に追手風部屋の大栄翔、大翔鷗、大翔岩、大翔若の4力士が登場。「鬼は外。福は内」の掛け声とともに投げられた福豆を、来場者は懸命に手を伸ばして受け取っていました。



## 笑顔と元気を分かち合う

1月28日、みらい文化ホールで浮城シニアクラブ連合会主催の第4回いきいき芸能発表大会が開催されました。

この大会は、会員の元気な姿・活動を幅広い年代に見てもらうとともに、各クラブ間の交流を深めることを目的に毎年行われています。出演者は、カラオケや舞踊、民謡などのステージパフォーマンスや、オレオレ詐欺対策の劇など熱のこもった演技を披露。観客も一体となって拍手と声援を送り、会場は活気に包まれていました。



## 2種目で新記録を樹立

1月23日、行田グリーンアリーナで第27回なわとび大会が開催されました。

時間とびなど7種の個人種目と長なわを使った2種の団体種目に362人の児童が参加。選手は自身の記録更新を目指して、慎重に、そしてリズムカルに跳び続けていました。その結果、うしろとび女子2年生の部と長なわ1分間とび低学年の部で新記録を樹立した選手も。この大会で練習の成果を思う存分発揮することができた選手は、満面の笑みを浮かべていました。



## 上田知事が市内の 観光イチゴ農園を視察

2月3日、上田知事が県内をくまなく訪問し、現場の声を県政運営に生かす知事の「とことん訪問」が行われました。

今回視察したのは、イチゴの生産販売を行っているベリーズファーム・ハセガワ(和田)です。代表の長谷川裕晃さんはビニールハウス内のコンピューターで管理された栽培設備をはじめ、自分が栽培している「あきひめ」「べにほっぺ」といった品種のイチゴを紹介しました。イチゴを試食した知事は「大粒でしかも甘くておいしい」と感想を述べ、満足した様子。限られた時間の中での訪問でしたが、二人は農業への思いを語り合い、最後に知事から「イチゴ農家として長谷川さんのさらなる飛躍を願っています」とエールが送られていました。



## 自らの棋力に磨きをかける

2月6日、行田市少年少女囲碁大会が中央公民館(「みらい」内)で開催されました。

6回目となる今大会には市内外から92人が参加。19路盤戦、13路盤戦の他、プロ棋士の黒瀧八段、鶴丸七段による指導碁、三村三段による入門教室も行われました。参加者は、初めて対戦する相手を前に自らの力量を試したり、プロ棋士からのアドバイスも熱心に聞いたりしていました。この大会を通じて、自らの棋力にさらなる磨きをかけることができたようです。

